

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2014年5月23日から2026年8月10日まで		
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②主要投資対象とする投資信託証券の組入れ外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。		
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース	投資信託証券	
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス5）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等	
	ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス5）		
	マネーボールマザーファンド	わが国の公社債等	
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。	
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス5）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。	
	ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス5）		
	マネーボールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。	
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。		

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

運用報告書（全体版）

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

第129期（決算日	2025年3月10日）
第130期（決算日	2025年4月10日）
第131期（決算日	2025年5月12日）
第132期（決算日	2025年6月10日）
第133期（決算日	2025年7月10日）
第134期（決算日	2025年8月12日）

受益者のみなさまへ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース」は、このたび第134期の決算を行いましたので、第129期～第134期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL  <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL  リテール営業部 0120-69-5432  
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比	投 資 証 組 入 比	信 託 信 託 率	純 資 産 総 額
		税 分	達 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円			円			%	百万円
105期(2023年3月10日)	7,262			40			97.1	77
106期(2023年4月10日)	6,916			40			96.6	73
107期(2023年5月10日)	6,929			40			95.7	72
108期(2023年6月12日)	7,070			40			94.5	77
109期(2023年7月10日)	7,042			40			96.3	73
110期(2023年8月10日)	7,055			40			96.0	73
111期(2023年9月11日)	7,138			40			95.9	74
112期(2023年10月10日)	7,096			40			96.3	73
113期(2023年11月10日)	7,240			40			96.2	75
114期(2023年12月11日)	7,037			40			95.8	73
115期(2024年1月10日)	7,082			40			95.9	73
116期(2024年2月13日)	7,355			40			95.1	73
117期(2024年3月11日)	7,264			40			95.1	72
118期(2024年4月10日)	7,474			40		0.4	95.0	69
119期(2024年5月10日)	7,607			40		0.6	94.8	70
120期(2024年6月10日)	7,702			40		0.6	95.5	70
121期(2024年7月10日)	7,928			40		0.5	95.4	72
122期(2024年8月13日)	7,298			40		0.5	95.2	66
123期(2024年9月10日)	7,019			40		0.6	97.5	62
124期(2024年10月10日)	7,400			40		0.6	97.3	66
125期(2024年11月11日)	7,557			40		0.3	97.1	67
126期(2024年12月10日)	7,427			40		0.5	96.8	66
127期(2025年1月10日)	7,629			40		0.6	96.9	68
128期(2025年2月10日)	7,231			40		0.7	96.2	46
129期(2025年3月10日)	7,156			40		0.5	95.9	45
130期(2025年4月10日)	6,695			40		0.8	95.3	42
131期(2025年5月12日)	6,901			40		0.6	96.5	43
132期(2025年6月10日)	6,873			40		0.8	96.2	40
133期(2025年7月10日)	6,987			40		0.5	95.9	36
134期(2025年8月12日)	7,113			40		0.7	95.8	37

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマネーブリック・マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率		
第129期	(期 首)	円	%	%	%
	2025年 2 月10日	7,231	—	0.7	96.2
	2 月末	7,263	0.4	0.5	96.0
	(期 末)				
	2025年 3 月10日	7,196	△0.5	0.5	95.9
第130期	(期 首)				
	2025年 3 月10日	7,156	—	0.5	95.9
	3 月末	7,274	1.6	0.5	95.8
	(期 末)				
	2025年 4 月10日	6,735	△5.9	0.8	95.3
第131期	(期 首)				
	2025年 4 月10日	6,695	—	0.8	95.3
	4 月末	6,801	1.6	0.8	97.5
	(期 末)				
	2025年 5 月12日	6,941	3.7	0.6	96.5
第132期	(期 首)				
	2025年 5 月12日	6,901	—	0.6	96.5
	5 月末	6,910	0.1	0.8	96.3
	(期 末)				
	2025年 6 月10日	6,913	0.2	0.8	96.2
第133期	(期 首)				
	2025年 6 月10日	6,873	—	0.8	96.2
	6 月末	6,943	1.0	0.7	96.1
	(期 末)				
	2025年 7 月10日	7,027	2.2	0.5	95.9
第134期	(期 首)				
	2025年 7 月10日	6,987	—	0.5	95.9
	7 月末	7,155	2.4	0.7	95.9
	(期 末)				
	2025年 8 月12日	7,153	2.4	0.7	95.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

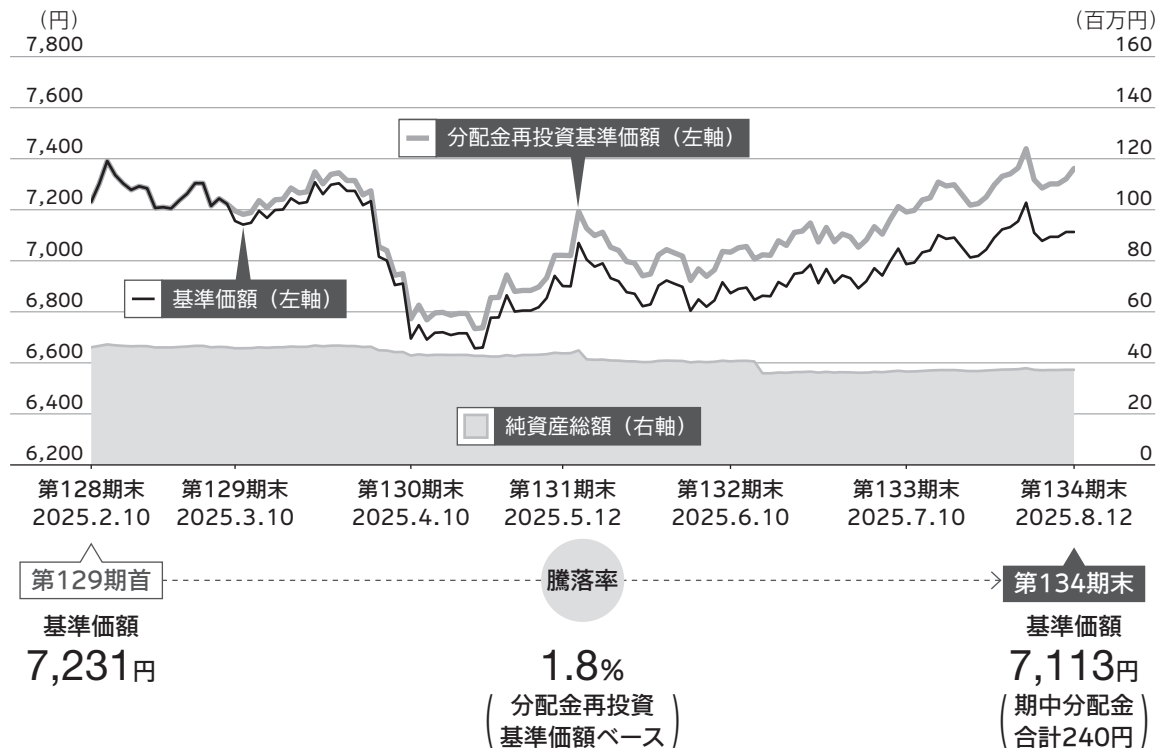
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

### ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年2月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」は、債券部分のプラス寄与が、為替部分のマイナス寄与を上回ったため、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド    マザーファンド    マザーファンド以外のファンド

## ● 投資環境

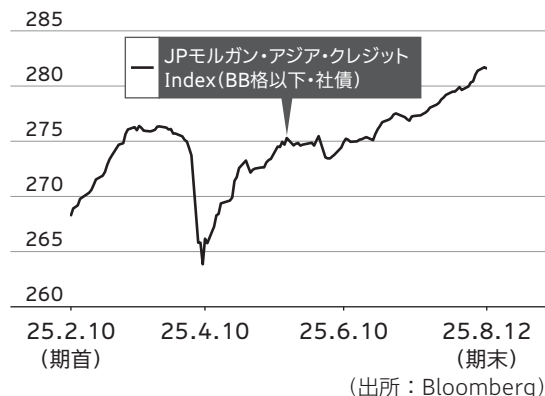
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。トランプ政権による関税政策を受けた米国景気の減速懸念から、米国国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その後は、米国の財政悪化懸念や格下げを受けて利回りが上昇（価格は下落）する局面もありましたが、FRB（米連邦準備理事会）による利下げ観測の高まりなどにより、利回りは低下基調となりました。

当期のクレジットスプレッドについては、米国の景気減速懸念から拡大した後、貿易交渉の進展等を好感し、縮小する動きとなりました。

米国国債利回りの低下や、クレジットスプレッドの縮小により、債券価格は上昇しました。

ドル円相場は、円高ドル安になりました。相互関税を巡る不透明感や米国の景気減速懸念から、円高ドル安が進行しました。その後、貿易交渉の進展や堅調な米国の経済指標を受け、ドルが買い戻される動きとなりましたが、期を通してみると、円高ドル安となりました。

市況の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を高位に維持しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

アジア・ハイ・イールド債券のインカム収入や利回りの低下（価格の上昇）により、債券部分はプラスに寄与しました。

米ドルは対円で下落したことから、為替部分はマイナス寄与となりました。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

アジア・ハイ・イールド債券のインカム収入や利回りの低下により、債券部分はプラスに寄与しました。

米ドルは対円で下落したことから、為替部分はマイナス寄与となりました。

### マネープールマザーファンド

コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第129期 2025.2.11 └ 2025.3.10	第130期 2025.3.11 └ 2025.4.10	第131期 2025.4.11 └ 2025.5.12	第132期 2025.5.13 └ 2025.6.10	第133期 2025.6.11 └ 2025.7.10	第134期 2025.7.11 └ 2025.8.12
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.556%	0.594%	0.576%	0.579%	0.569%	0.559%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,680	2,684	2,690	2,692	2,704	2,713

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

**決算期毎にインカム収入<sup>※</sup>を中心に分配を行うことを目指すファンドです。**

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。



## ● 今後の運用方針

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

アジアのクレジットスプレッドはややタイトな水準にあるものの、安定したクレジットファンダメンタルズと良好な需給が市場を下支えすると見えています。一方で、貿易や関税に関する不確実性や、米国の景気や金融政策の先行きに対する不透明感が、短期的に市場の逆風となる可能性があるため、当面は慎重なスタンスを取る方針です。利回り収入の確保を念頭に、市場動向を踏まえながら安定したポートフォリオ運営を継続する方針です。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

トランプ大統領と各国との関税交渉に進展が見られ、市場の不確実性が後退したことで、クレジットスプレッドは縮小しています。今後は米国経済の下振れリスクが懸念されますが、一方で、アジアのクレジット市場では新規発行が少ない中、良好な需給が市場を下支えするものと見えています。引き続き、安定したクレジットファンダメンタルズでありながら利回り水準の高い銘柄に選別的に投資することで、リターンの確保に努める所存です。

### マネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第129期～第134期 2025.2.11～2025.8.12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.507%	$(a) \text{ 信託報酬} = \text{各期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率 (年率)} \times \frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は7,057円です。</p>
( 投信会社 )	( 15 )	( 0.210 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 20 )	( 0.281 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
( 受託会社 )	( 1 )	( 0.017 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	$(b) \text{ その他費用} = \frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
( 監査費用 )	( 0 )	( 0.005 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	36	0.512	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

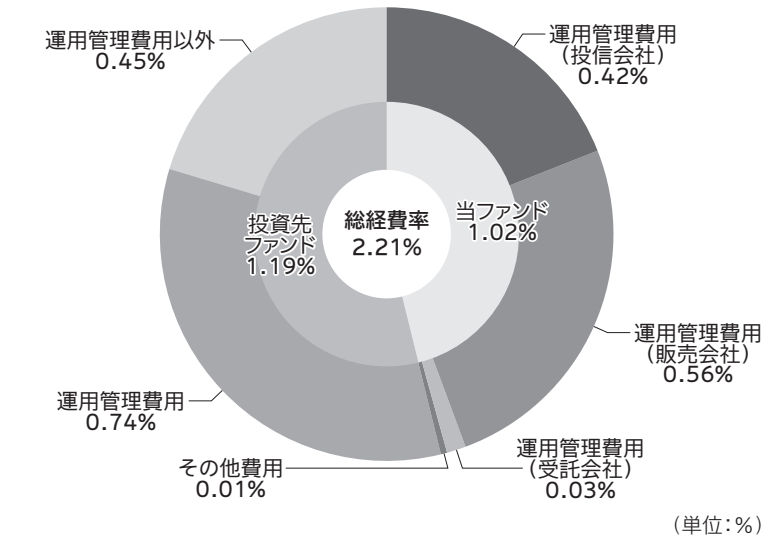
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.21%**です。



総経費率(①+②+③)	2.21
①当ファンドの費用の比率	1.02
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.45

注1．当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3．各比率は、年率換算した値です。

注4．投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5．当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6．当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月11日～2025年8月12日)

投資信託証券

銘柄		第129期～第134期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund V	—	—	9,989	5,500
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 5 (JPY)	—	—	3,449	2,000
	合計	—	—	13,438	7,500

(注1) 金額は受渡代金。  
(注2) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第129期～第134期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネーパールマザーファンド		—	—	100	100

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月11日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第128期末	第134期末		
		口数	口数	評価額	比率
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund V		41,960	31,970	18,130	48.6
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 5 (JPY)		32,872	29,423	17,603	47.2
合計		74,832	61,393	35,734	95.8

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第128期末	第134期末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネープールマザーファンド	千口 460	千口 360	千円 360

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第134期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項 目	第134期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 35,734	% 95.2
マネープールマザーファンド	360	1.0
コール・ローン等、その他	1,451	3.8
投資信託財産総額	37,545	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第129期末	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末
	2025年3月10日現在	2025年4月10日現在	2025年5月12日現在	2025年6月10日現在	2025年7月10日現在	2025年8月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	46,015,064	43,172,968	44,001,406	40,864,145	36,822,439	37,545,771
コール・ローン等	1,699,291	1,841,249	1,380,117	1,345,500	1,363,707	1,450,769
投資信託受益証券(評価額)	43,855,659	40,871,466	42,160,902	39,058,120	35,098,098	35,734,260
マネープールマザーファンド(評価額)	460,098	460,236	460,374	460,513	360,621	360,729
未収利息	16	17	13	12	13	13
(B) 負債	291,959	296,108	291,985	269,634	240,669	244,108
未払収益分配金	255,580	256,188	253,364	236,271	209,429	209,773
未払信託報酬	36,007	39,511	38,226	33,022	30,924	33,987
その他未払費用	372	409	395	341	316	348
(C) 純資産総額(A－B)	45,723,105	42,876,860	43,709,421	40,594,511	36,581,770	37,301,663
元本	63,895,013	64,047,085	63,341,158	59,067,944	52,357,420	52,443,337
次期繰越損益金	△18,171,908	△21,170,225	△19,631,737	△18,473,433	△15,775,650	△15,141,674
(D) 受益権総口数	63,895,013口	64,047,085口	63,341,158口	59,067,944口	52,357,420口	52,443,337口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,156円	6,695円	6,901円	6,873円	6,987円	7,113円

(注1) 当作成期間(第129期～第134期)における期首元本額63,754,788円、期中追加設定元本額1,490,868円、期中一部解約元本額12,802,319円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第129期0.7156円、第130期0.6695円、第131期0.6901円、第132期0.6873円、第133期0.6987円、第134期0.7113円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第129期18,171,908円、第130期21,170,225円、第131期19,631,737円、第132期18,473,433円、第133期15,775,650円、第134期15,141,674円

## ○損益の状況

項 目	第129期	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期
	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	292,151	325,096	292,226	271,867	267,827	267,701
受取配当金	291,777	324,649	291,777	271,506	267,325	267,325
受取利息	374	447	449	361	502	376
(B) 有価証券売買損益	△ 481,749	△ 2,984,055	1,294,899	△ 175,860	557,661	636,270
売買益	92	138	1,294,433	48,830	565,569	636,270
売買損	△ 481,841	△ 2,984,193	466	△ 224,690	△ 7,908	—
(C) 信託報酬等	△ 36,379	△ 39,920	△ 38,621	△ 33,363	△ 31,240	△ 34,335
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 225,977	△ 2,698,879	1,548,504	62,644	794,248	869,636
(E) 前期繰越損益金	△14,102,337	△14,583,894	△17,117,907	△14,711,539	△13,150,434	△12,565,615
(F) 追加信託差損益金	△ 3,588,014	△ 3,631,264	△ 3,808,970	△ 3,588,267	△ 3,210,035	△ 3,235,922
(配当等相当額)	( 12,874,737)	( 12,915,497)	( 12,828,036)	( 11,972,217)	( 10,619,930)	( 10,643,162)
(売買損益相当額)	(△16,462,751)	(△16,546,761)	(△16,637,006)	(△15,560,484)	(△13,829,965)	(△13,879,084)
(G) 計 (D+E+F)	△17,916,328	△20,914,037	△19,378,373	△18,237,162	△15,566,221	△14,931,901
(H) 収益分配金	△ 255,580	△ 256,188	△ 253,364	△ 236,271	△ 209,429	△ 209,773
次期繰越損益金 (G+H)	△18,171,908	△21,170,225	△19,631,737	△18,473,433	△15,775,650	△15,141,674
追加信託差損益金	△ 3,588,014	△ 3,631,264	△ 3,808,970	△ 3,588,267	△ 3,210,035	△ 3,235,922
(配当等相当額)	( 12,874,737)	( 12,915,497)	( 12,828,036)	( 11,972,217)	( 10,619,930)	( 10,643,162)
(売買損益相当額)	(△16,462,751)	(△16,546,761)	(△16,637,006)	(△15,560,484)	(△13,829,965)	(△13,879,084)
分配準備積立金	4,251,437	4,280,497	4,213,337	3,929,095	3,537,649	3,585,445
繰越損益金	△18,835,331	△21,819,458	△20,036,104	△18,814,261	△16,103,264	△15,491,197

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程 (2025年2月11日～2025年8月12日) は以下の通りです。

項 目	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
a. 配当等収益(費用控除後)	255,830円	285,248円	285,157円	238,546円	257,722円	257,569円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	12,874,737円	12,915,497円	12,828,036円	11,972,217円	10,619,930円	10,643,162円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	4,251,187円	4,251,437円	4,181,544円	3,926,820円	3,489,356円	3,537,649円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	17,381,754円	17,452,182円	17,294,737円	16,137,583円	14,367,008円	14,438,380円
f. 分配対象収益 (1万口当たり)	2,720円	2,724円	2,730円	2,732円	2,744円	2,753円
g. 分配金	255,580円	256,188円	253,364円	236,271円	209,429円	209,773円
h. 分配金 (1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

## ○分配金のお知らせ

	第129期	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

### <分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

### <分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

### <課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

## ○お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

## ＜参考情報＞組入れ投資信託証券の内容

### ■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス5)
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
運用の基本方針	主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。



■包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)  
アメリカドル

収益	
銀行利息	51,177
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	698,650
為替差損益	△ 5,028
収益合計	<u>744,799</u>
費用	
支払利息	△ 1,854
投資運用報酬	△ 196,169
投資運用報酬 払戻料	6,686
管理報酬	△ 11,462
監査報酬	△ 56,192
保管報酬	△ 19,683
受託者報酬	△ 15,009
その他営業費用	△ 38,703
営業費用合計	<u>△ 332,386</u>
税引前・分配前利益	412,413
税金	<u>—</u>
税引後・分配前利益	412,413
分配金	<u>△6,102,199</u>
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	<u>△5,689,786</u>

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment SeriesNikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■組入上位銘柄

(2024年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
GLP PTE. LTD. 3.875% 04-JUN-2025	シンガポール	3.875%	2025/6/4	3.8%
YANLORD LAND (HK) CO., LIMITED 5.125% 20-MAY-2026	中国	5.125%	2026/5/20	2.8%
SAN MIGUEL GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 8.125% PERP	フィリピン	8.125%	永久債	2.5%
GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 4.7% 29-APR-2025	中国	4.700%	2025/4/29	2.5%
INDIA CLEAN ENERGY HOLDINGS 4.5% 18-APR-2027	インド	4.500%	2027/4/18	2.4%
PINGAN REAL ESTATE CAPITAL LIMITED 3.45% 29-JUL-2026	中国	3.450%	2026/7/29	2.3%
NICKEL INDUSTRIES LIMITED 11.25% 21-OCT-2028	インドネシア	11.250%	2028/10/21	2.2%
LS FINANCE (2017) LTD. 4.8% 18-JUN-2026	香港	4.800%	2026/6/18	2.1%
GOLOMT BANK LLC 11.0% 20-MAY-2027	モンゴル	11.000%	2027/5/20	2.1%
GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 5.65% 13-JUL-2025	中国	5.650%	2025/7/13	2.0%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

## ■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<b>■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド</b> (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス5)
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
運用の基本方針	主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

## ■包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)  
アメリカドル

収益	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失（△）	△ 8,814
為替差損益	△ 82,342
受取利息	98,076
その他収益	—
収益合計	6,920
費用	
投資運用報酬	123,751
管理報酬	2,411
監査報酬	26,306
保管報酬	1,955
名義書換費用	270
受託者報酬	12,000
その他営業費用	28,133
営業費用合計	194,826
営業損失	△ 187,906
分配金	△4,096,025
税引前・分配後損失	△4,283,931
税金	—
税引後・分配後損失	△4,283,931
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△4,283,931

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

## ■組入上位銘柄

(2024年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	7.0%
INDIKA INTI ENERGI PT 8.75% DUE 07/05/2029	インドネシア	8.750%	2029/5/7	5.4%
RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	5.2%
SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.1%
STUDIO CITY FINANCE LTD 5% DUE 15/01/2029	マカオ	5.000%	2029/1/15	3.8%
FAR EAST HORIZON LTD 6.625% DUE 16/04/2027	中国	6.625%	2027/4/16	3.5%
SHRIRAM FINANCE LTD 6.15% DUE 03/04/2028	インド	6.150%	2028/4/3	3.4%
NWD MTN LTD 8.625% DUE 08/02/2028	香港	8.625%	2028/2/8	3.3%
SHANGHAI COMMERCIAL BANK 6.375% DUE 28/02/2033	香港	6.375%	2033/2/28	3.2%
PRUDENTIAL FUNDING ASIA 2.95% DUE 03/11/2033	香港	2.950%	2033/11/3	3.2%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

# マネープールマザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2025年 8 月12日）

＜計算期間 2024年 8 月14日～2025年 8 月12日＞

マネープールマザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%		%	百万円
10期(2021年 8 月10日)	10, 011	△0. 1		—		133
11期(2022年 8 月10日)	10, 001	△0. 1		—		87
12期(2023年 8 月10日)	9, 990	△0. 1		—		88
13期(2024年 8 月13日)	9, 983	△0. 1		55. 1		72
14期(2025年 8 月12日)	10, 006	0. 2		72. 2		55

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰	落 率		
	(期 首)		円		%		%
	2024年 8 月13日		9,983		—		55.1
	8 月末		9,984		0.0		55.1
	9 月末		9,985		0.0		58.8
	10月末		9,986		0.0		58.8
	11月末		9,987		0.0		63.7
	12月末		9,987		0.0		63.7
	2025年 1 月末		9,988		0.1		72.0
	2 月末		9,990		0.1		54.2
	3 月末		9,993		0.1		54.1
	4 月末		9,996		0.1		72.2
	5 月末		9,999		0.2		72.2
	6 月末		10,002		0.2		72.3
	7 月末		10,005		0.2		72.2
	(期 末)						
	2025年 8 月12日		10,006		0.2		72.2

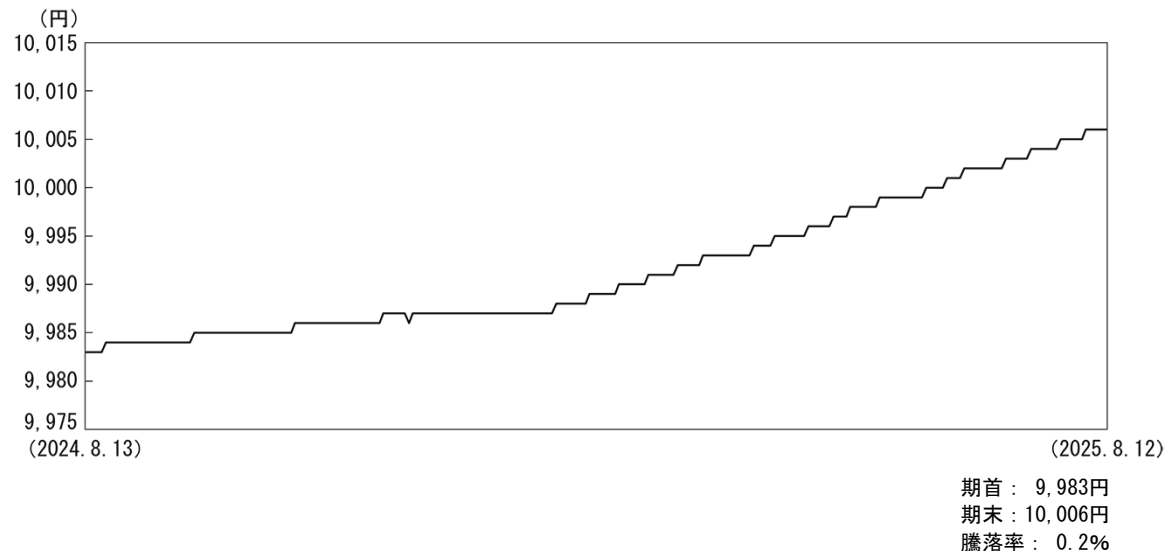
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ○運用経過

(2024年8月14日～2025年8月12日)

## ■基準価額の推移



## ■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがプラスで推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を上回りました。

## ■投資環境

2024年12月までは、無担保コールレート（オーバーナイト物）は概ね0.20%～0.25%の範囲で推移しました。2025年1月に日銀が政策金利を引き上げた後は、概ね0.45%～0.50%の範囲で推移しました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間 1 年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 8 月14日～2025年 8 月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年 8 月14日～2025年 8 月12日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 209,897	千円 — (210,000)

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還等による増減分です。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年 8 月14日～2025年 8 月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	40,000	39,977	72.2	—	—	—	72.2
	(40,000)	(39,977)	(72.2)	(—)	(—)	(—)	(72.2)
合 計	40,000	39,977	72.2	—	—	—	72.2
	(40,000)	(39,977)	(72.2)	(—)	(—)	(—)	(72.2)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(B) 国内(邦貨建) 公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第1309回国庫短期証券	—	10,000	9,997	2025/9/1	
第1314回国庫短期証券	—	10,000	9,995	2025/9/22	
第1318回国庫短期証券	—	10,000	9,993	2025/10/14	
第1322回国庫短期証券	—	10,000	9,990	2025/11/4	
合 計		40,000	39,977		

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円	%	千円	%
	39,977	72.2	39,977	72.2
コール・ローン等、その他	15,381	27.8	15,381	27.8
投資信託財産総額	55,358	100.0	55,358	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 55,358,428
コール・ローン等	15,380,968
公社債(評価額)	39,977,320
未收利息	140
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	55,358,428
元本	55,322,707
次期繰越損益金	35,721
(D) 受益権総口数	55,322,707口
1万口当たり基準評価額(C/D)	10,006円

(注1) 信託財産に係る期首元本額72,646,896円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額17,324,189円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託  
ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース  
30,006,333円

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース  
12,112,794円

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルリアルコース  
11,997,917円

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース 845,150円

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース 360,513円

(注3) 期末における1日当たりの純資産総額 1.0006円

○損益の状況 (2024年8月14日～2025年8月12日)

項 目	當 期 円
(A) 配当等収益	51,000
受取利息	51,000
(B) 有価証券売買損益	82,070
売買益	82,070
(C) 当期損益金 (A + B)	133,070
(D) 前期繰越損益金	△121,538
(E) 解約差損益金	24,189
(F) 計 (C + D + E)	35,721
次期繰越損益金 (F)	35,721

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。